

保育士配置基準の引き上げと保育士の処遇改善を求める意見書の提出を求める

陳情書

要旨

国に対して「保育士配置基準の引き上げと保育士の処遇改善を求める意見書」を提出してください。

理由

保育所は、子育て家庭をささえる施設であり、幼い子どもの発達を保障し、いのちを守るための不可欠な社会資源になっています。

政府は、「こども未来戦略」の一環として 2024 年 4 月に、76 年ぶりに保育士配置基準を 4・5 歳児 25 対 1 に改善しました。しかしながら経過措置が設けられ、加配加算に留まり完全実施は先送りされました。世界に目を向ければ、4・5 歳児の配置基準は、フランスのパリで 15 対 1、スウェーデンのストックホルムで 18 対 3（実質 6 対 1）となっており、日本の配置基準はまだまだ低水準のままです。しかも経過措置が設けられてしまうという実情です。保育士確保が難しいというのが経過措置を設けた理由とされていますが、保育士確保が難しいのは賃金をはじめとした処遇が劣悪なためです。

つきましては貴議会より、国に対して「保育士配置基準の引き上げと保育士の処遇改善を求める意見書」を提出していただけるよう陳情いたします。